



名古屋市立万場小学校

# い な ほ

令和7年1月31日  
名古屋市立万場小学校  
学校だよりNo.15  
【特別号】

## 令和6年度 学校教育に関するアンケート 結果について

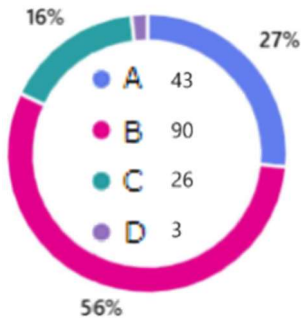
ご協力いただきましたアンケート結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

<質問紙によるアンケート> 回答数 162 / 在籍数 342 名 回答率 47% (前年度比±0%)

A : 当てはまる B : やや当てはまる C : あまり当てはまらない D : 全く当てはまらない

### ① お子さんは、自分の「めあて」を設定する授業を通して、

算数科の学びを進んで深めることができている。【学校努力点】

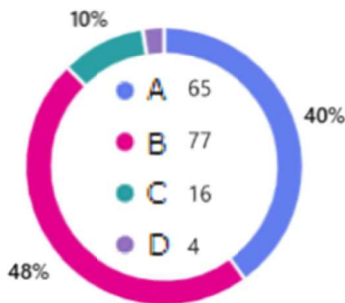


A・B合わせて82%と評価いただきました。

今年度は「ナゴヤ学びのコンパス」を基盤とし、子ども自身が個に応じた「めあて」を設定する授業を、算数科を中心に行っています。子どもへの「算数アンケート」(5月・9月・1月実施)の数値は、昨年度に比べ高い水準で、「自分のめあてをもつことができる」の項目では、数値が伸びました。しかし、「新しい問題にも『やってみよう!』と取り組んでいる」の項目では、数値が伸び悩んでいます。

今後も、「ナゴヤ学びのコンパス」を基盤に、子どもが自己決定・自己選択する機会を確保し、子ども中心の主體的な学びとなるよう、授業改善を続けていきたいと思ひます。

### ② お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと感じている。

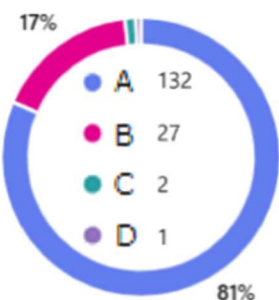


A・B合わせて88%と評価いただきました。(前年度比+4%)

専科教員による授業を、音楽科・図画工作科・家庭科等の教科で行いました。また、2・3年生を対象に「子ども未来応援講師」による学力補足のための特設講座「わかった・できた」を行いました。さらに、算数科の授業では、全学年で、複数の教員によるTT (TeamTeaching) 指導を進めました。

今後も、今年度の体制を基に、より個に応じた指導を行える体制を整えていきたいと思ひます。

### ③ お子さんは、校外学習や出前授業など、体験や経験を重視した活動を楽しみにしている。

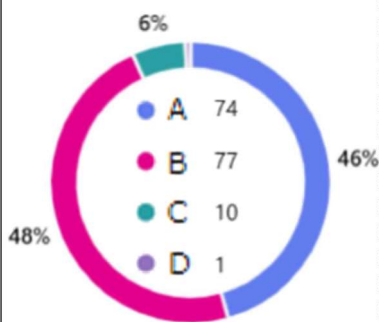


A・B合わせて98%と評価いただきました。(前年度比-1%)

今年度は、稲葉地公園での秋見付け(1年生)・赤ちゃん抱っこ体験(2年生)・水耕ネギ栽培見学(3年生)・瀬戸蔵ミュージアム見学(4年生)・味噌蔵見学(5年生)・茶道体験(6年生)等の校外学習・出前授業を行いました。

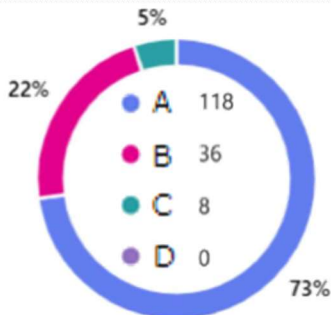
今後も、校外学習や外部講師の活用を力を入れ、教室ではできない体験をしたり、専門的な知識をもつ方から話を聞いたりする等、体感と実感を重視した活動を進めていきたいと思ひます。

④ お子さんは、異学年交流により、相手を思いやり、協力するよさを感じている。



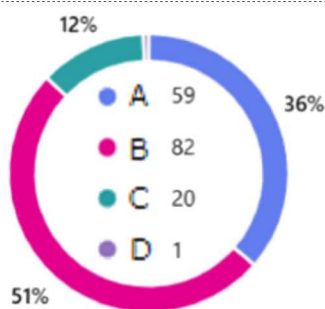
A・B合わせて93%と評価いただきました。（前年度比－1%）  
今年度から縦割り活動を無くし、ペア学年での活動を月に1回程度行いました。また、「なかよしフェスティバル」や、昨年度から継続している、3学年のグループで学習する「あつまれ！！学びの会」にも取り組みました。異学年の仲間と活動し、学び合うことを通して、相手を思いやり、行動や考えを振り返る力が育っています。  
今後も、他者への思いやりを大切に、関わり合いの中で成長できる子どもとなるよう、支援を続けていきたいと思ひます。

⑤ お子さんは、元気よく体を動かしたり、遊んだりすることを楽しんでいる。



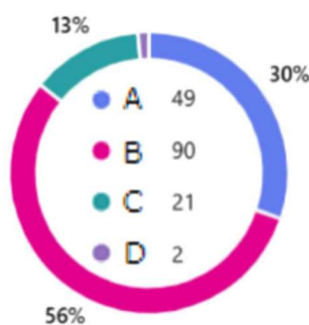
A・B合わせて95%と評価いただきました。（前年度比＋4%）  
月に1回程度、木曜日にロング昼休みを設け、運動の機会を確保しています。子どもたちは、友達と思いきり運動することができる機会を楽しみにしています。  
今後も、こうした取り組みを継続し、健康的な体づくりを推進していきたいと思ひます。

⑥ お子さんは、困ったときに相談することができる。



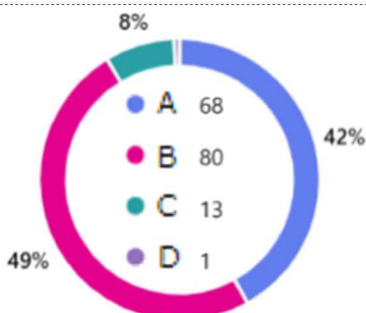
A・B合わせて87%と評価いただきました。  
年に2回（7月・12月）の担任との教育相談や、スクールカウンセラーとの全員面談により、個別に相談できる機会を確保しています。また「こころの元気チェック」（学期1回以上）や「学校生活アンケート（WEB－QU）」（4～6年・年2回）を通して、子どもの悩みの把握に努め、必要な声掛けや支援を行っています。  
今後も、悩みを相談できる体制づくりに努めていきます。

⑦ お子さんは、手洗いや規則正しい生活習慣など、健康に心掛けた生活を意識している。

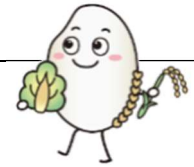


A・B合わせて86%と評価いただきました。（前年度比－3%）  
2時間目の休み時間や昼休みの後、給食前等に「手洗いの歌」を放送することで、意識付けができるようにしています。また、全学年で、栄養教諭による栄養指導を行いました。さらに、学校医と協力し、養護教諭による「歯みがき指導」の取り組みを行いました。  
今後も、これらの活動や、給食だより・保健だより等を通して、子どもたちが心身の成長や健康の保持増進についての理解をいっそう深められるようにしていきたいと思ひます。

⑧ 連絡帳や「きずなネット」の利用などにより、学校の様子や情報が適切に伝わっている。



A・B合わせて91%と評価いただきました。  
「紙面での配布物が家庭に届きにくい」というご意見を踏まえ、今年度より、「きずなネット」による電子配信に切り替えました。また、紙面の場合もお知らせを配信することで、確実に連絡が伝わるようにしました。「学年だより」は回数や内容を精選し、学校の様子が伝わりやすい構成となりました。  
今後も、確実に情報が伝わる体制づくりに努めていきます。



### <お寄せいただいたご意見（抜粋）>

- ③ 校外学習をととても楽しみにしており、また行きたいと言っている。2日間連続だったので、子どもが疲れていた。少し日が空くとよかった。
- ④ 異学年交流では、上学年に教えてもらったことをとても喜んでおり、楽しかったと教えてくれた。一方で、周りから下学年に対しての当たりが強いと聞いたので、もう少し何とかならないかと思っている。
- ⑦ 感染症が流行する時期には、学校側からも、しつこいくらいに手洗い・うがいの重要性を教えてほしい。
- ⑧ 「きずなネット」の配信がとても助かっている。（多数）
- ⑧ 図工に必要な材料のお知らせ等も、「きずなネット」で知らせてほしい。
- ⑧ ペーパーレスの取り組みのため、「きずなネット」配信のみにしていることは承知している。しかし、重要な内容の連絡も全て配信のみだと、中部電力からのお知らせなどと混ざってしまい、分かりづらく感じている。紙面での連絡も併用してほしい。
- ⑧ 「きずなネット」の連絡の中で、重要事項を見逃す時がある。年間予定表を探すのに時間がかかることがある。見やすさ・探しやすさを、もう少し重視してもらえたら助かる。
- ⑧ 学校だよりの行事予定について、曜日分けのカレンダー形式で記載されるようになったが、以前のような縦長の日付一覧の方が把握しやすいと思う。
- ⑧ 高学年になり連絡帳はないが、必要な情報は子どもを通して伝わっている。子どもが前日に慌てていることもあるが、基本的に子ども自身がきちんとすべきことだと思うので、メモを取る習慣を身に付けるなどすればよい。
- ⑧ 高学年になると子どもに干渉することも減るし、本人も言わないので、より学校から発信してくれるとうれしい。

⑧について、特に多くのご意見をいただきました。連絡帳や「きずなネット」等の活用について、来年度に向け、さらに検討を重ねていきたいと思えます。

今後とも、児童の安全と健全な成長を第一に考え、教育活動に取り組んでまいります。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

